

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健所費 目：保健所費

## 事業名 妊娠・出産包括支援推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 子育て支援課 母子保健係

電話番号：058-272-1111(内3542)

E-mail : c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,020 千円 (前年度予算額： 1,318 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,318	659	0	0	0	0	0	0	659
要求額	2,020	491	0	0	0	0	0	0	1,529
決定額									

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化等により、地域において妊産婦やその家族を支える力が弱くなってきており、妊娠・出産、子育てに係る妊産婦等の不安や負担が増えてきている。
- ・支援が必要な妊産婦（精神面に問題を抱える妊産婦・ひとり親・若年妊婦等）が増えており、早期把握及び支援が必要である。
- ・令和4年度から、県内全市町村で産後ケア事業が実施されることとなったが、産後ケアのニーズが多様化しており、限られた資源の中で調整する市町村保健師のアセスメント力を向上させる必要がある。
- ・上記のことから、市町村における産後ケア事業実施を推進する事業を実施することにより、県全体として妊産婦の不安を軽減し、孤立化を防ぎ、ひいては虐待の予防につなげることができる。

## (2) 事業内容

- ・連携強化事業（連絡調整会議）

地域関係機関の情報共有等を行うための連絡調整会議を開催。

（地域：各保健所年1回）

## ・研修会

産後ケア事業利用促進にあたって、市町村保健師の資質の向上のための研修を実施するほか、市民向けに産後ケア事業を広く周知するための研修を実施する。

## (3) 県負担・補助率の考え方

国 1/2 県 1/2

・平成26年度より市町村を実施主体とした妊娠出産包括支援事業（国庫補助事業）が創設されているが、今後市町村が本事業を導入しやすい体制を県が整備することで、市町村の取組を推進することができる。

## (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	296	研修会講師、連絡調整会議構成員報償費
旅費	113	研修会講師、連絡調整会議構成員費用弁償、業務旅費
需用費	45	消耗品（検討会等資料、案内）、お茶代等
役務費	34	電話代、郵送代
委託料	1,152	委託料
その他（使用料）	380	研修会、検討会の会場使用料
合計	2,020	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画（令和6年4月～）

# 事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

妊娠・出産包括支援事業が市町村事業として導入され、妊娠期からの切れ目のない支援体制の整備を目指す。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H28 )	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
①①妊娠・出産包括支援事業（産後ケア事業）導入市町村数	0	42	42	42	42	100%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### (これまでの取組内容と成果)

令和4年度	令和3年度の取り組みに加え、産後ケア事業（アウトリーチ型）を一括して担っている岐阜県助産師会へ委託し、ケアの実務者として研修を開催するほか、市町村保健師と連携する場を設けている。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	令和4年度と同じ
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	岐阜県助産師会に委託し、産後ケアの質向上のための研修や普及啓発を行っている。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	妊娠期から育児期まで切れ目ない支援を行うための市町村への体制整備の推進に重点を置いて実施することで、孤立化予防、虐待予防につなげることから事業の必要性は高い。
-----------	---

#### ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり  
2：期待どおりの成果あり  
1：期待どおりの成果が得られていない  
0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 3	支援体制の整備とともに個々の支援の充実も図ることが可能であることから事業の有効性は高い。
-----------	--

#### ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 2	県全体で体制整備を推進することで、その後の市町村事業導入の一助になることを目的としており、事業の効率性は高い。
-----------	---

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

出産後の母子に対する心身のケアや育児サポートを確保していく産後ケア事業の利用促進に向けた整備が必要である。加えて、産前から産後の計画を立て、見通しを持った育児を推進することが必要である。

### (次年度の方向性)

#### ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

利用者のニーズに即して、適切に利用できる産後ケアの実施体制の整備を実施していく。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	